



えんか
便り

今年こそはー！

今や人生百年時代というのが私にはあと18年しかないので、生きている喜びを日々楽しもうと思うのに、コロナウイルスの感染予防で自粛提言をされ動きが取れない。初詣は心の中で神社仏閣にワクチン製造完成とコロナウイルス終焉を祈り、晴れ着を着て友に会いに行こう。
(名華女)

人並みに心配ことや不安はある。それらに振り回される事なく、自分の気分が良くなるように折り合いをつけて過ごす。上手に折り合いがつけられるように日々進化しながら知恵を付けて生きていくぞー！
(すみちゃん)

娘と一緒に富士山登山に挑戦！2人で頂上で日の出を待っていると、ステキな男性が近づいてきて、娘に「これからの人生を一緒に歩いてください」と花束を差し出す。今年こそは、そんな夢を見させてください。できれば現実になりますように。
(しば)

毎年「今年こそは」と誓うことはあっても、何だか有耶無耶のうちに1年が経ってしまう。なので今年は「今年も



No.58



平穏な1年が送れますように」かなあ。なんとも向上心がないが、「いつも通りの日常がいかに貴重なことか思い知った昨年1年間。後退を避け、目指すは現状維持という自分に甘くゆるーい」今年こそは。
(チャーミー)

健康診断。毎年大きな問題はないものの、毎年ひっかかる特定保健指導。毎年直前に生活改善しようとして、結局間に合わない。今年こそは「今から」万全の準備をして、ひっかからないようにしよう。それ以前に、禁煙さえすればひっかからないのだが...
(俺)

△ハモン博士のまとめ

さあ、一年の始まりじゃ。意欲をもって「今年こそは」という気持ちで何かを願うこと思うことは大切なことじゃ。だが、個人の力だけでは何ともならんこともある。今の状況であれば、「今年こそは」コロナの不安から解消され、穏やかな日常が戻ってくることを願わずにはいられんな。



問合せ

大口町NPO登録団体ハモン

☎95-1691

Be Ambitious vol.319

町内にお住まいの
20代の皆さんがリレーで登場！

人と接するのが好き

甲斐 昌士さん(下小口) H9・12月生



お客様に寄り添った接客

人と接する仕事がしたいと思ひ携帯ショップに勤め、じきに3年になります。販売窓口にいると毎日老若男女さまざまなお客様がおみえになります。料金プランの説明や、操作方法、プランの見直しの相談など、ひとりひとりのお客様に寄り添い、わかりやすく説明するように努め、最後は笑顔で帰っていただけたいと思っています。

囲気。上司や同僚とは仕事の事からプライベートまで何でも話せる仲で、職場環境に恵まれていると思っています。

家族について
3人兄弟の末っ子。姉や兄とは仲が良いですし、家族5人でも遠出をしたり、家でUNOを楽しんだりもします。父は寡黙な人ですが、最近になってお味噌汁を作ってくれるようになり、ちょっとほっこりしています。母は楽しい事をするのが好きで、自分の性格は母譲りかもしれませんが、年始の親戚の集まりに家族でお揃いの服を着て参加することも。居心地のいい家ですが、自分のステップアップのため、一人暮らしを経験したいと思案中です！

担当したお客様から、「説明が分かりやすかったよー」と言ってもらえることが活力になっていきます。先日は丁寧なお礼のメールをいただきました。自分の接客で、お客様が温かい気持ちになれたと知れてものすごく嬉しかったです。販売店はアットホームな雰



▲2019年の年始、親族の集まりにお揃いの服の甲斐家